



地域住民の意識で守っていきこう。 空堀地区、町づくりの取り組み。

空堀らしい町づくりをと、空堀地区H O P Eゾーン協議会による修景事業が少しずつ進んでいく中で、路地や町づくりの話になり生まれたのが、路地部会と開発ルール部会です。

路地部会は、路地の整備が大きなテーマですが、開発ルール部会では、近年地上げが目につき、マンション開発などで町の様子が変わっていく問題に正面から取り組みようとしています。

その為のルールとして以下の条文を作りました。

一、つながりを生かすまちなみづくりに取り組みましよう。

二、大きな建物を建てる時は、周囲と調和するよう配慮しましよう。

三、空地、空家、空店舗なども、まちなみに配慮しましよう。

四、路地を生かした町づくりに取り組みましよう。

五、コミュニティを大切に、暮らしやすい環境を作りましよう。(詳しくは、空堀まちなみ井戸端瓦版に掲載。)

空堀を守るために、一番大事な事は、この地域に住んでいる方々の一報だと思えます。町会や空堀地区H O P Eゾーン協議会に伝え、皆で一体となり事業者との話し合いに入り、大阪市も協力して少しでも早く対応が出来れば、トラブル発生も最小限で押さえられると思っております。

空堀ルール部会では、すでに一つの物件で協議に入っており、成功するかどうかは、今後の話し合い次第ですが、大いに期待しています。地域の皆様方の応援無くしては出来ない事業です。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

空堀地区H O P Eゾーン協議会
副会長 原田壽幸

からほり新聞

第14号 (2008.8.6)

「空堀界隈を」ご散策される皆様へ

- ◆路地の奥は私有地が多いのでご注意ください。
- ◆美しい石畳や木造家屋に「ミ」は似合いません。
- ◆商店街は生活の場でもあります。節度とマナーで笑顔が増えます。

からほり伝言板

かみなり亭寄席 奇数月の第2土曜日午後6時30分より。会場:薬業年金会館。出演:笑福亭一門ほか。
問い合わせ:06-6768-3549

講談 旭堂 南海(何回続く会) 薬業年金会館
毎月第4火曜日 午後7時~ 木戸銭1,500円

楓ギャラリー
展示内容はホームページでご確認ください。
www.7a.biglobe.ne.jp/~kaede-g/

8月18日~22日

和紙を使ったきりえの展示と販売、竹細工

8月21日(水)午後

和紙を使ったきりえ教室

主催:スコットカラー

会場:からほりざろん

買い物は空堀商店街で

☆編集後記

◆仕事で上京しました。「快傑からほり人」は筆者が交代致しますが、今後もからほり新聞をよろしくお願ひします。(高田)

◇生魂國さんの「子供獅子」練り歩いて「打ちましましよ、チョンチョン」こんな多くの子供たちが、可愛いナニワジメを。(山名)

◆今年の夏休みは娘たちがバカンスで、自宅に来るらしい。私のバカンスは。(永井)

◇暑くて熱くて、子どもがお風呂に入りません。悪いのは子ども? 異常気象の世の中が悪いと思うのは私だけでしょうか?。(山本)

◆酷暑の夏日、夕立の雷と雨の激しさはあまりにも男性的。神の怒り顔が見えそう(竹間)

◇「空堀の老舗特集」に取材協力頂いたお店さん、紙面の都合で次号に掲載させていただきます。(ゆきさきby青木)

◆今年のラジオ体操は皆勤賞。運営されている方々に感謝。(し)

お年よりの皆さんに、住み慣れた町で楽しく充実した暮らしが続けられることを願って支援活動や暮らしの潤いに様々な企画を推進しています。

「からほりざろん」

■懐かしい映画の会(毎月第2土曜日午後2時から)

■食事会(毎月第2木曜日に変更しました。12時から) 楽しく食べませんか。参加費500円。

■絵手紙(毎月第4水曜日午後1時30分から)

■童謡・唱歌を歌う会
(毎月第1、第3水曜日午後1時30分~)
会場 大阪社会福祉指導センターB1

■10月8日(水)懐かしの童謡・唱歌を歌う
午後2時~4時 会場ドーンセンター 大ホール
主催 朝日新聞厚生文化事業団、大阪ガスいきいき市民推進室、高齢者外出介助の会

■11月1日(土)会場1時 開演1時30分から
みんなで集う秋のコンサート
会場:ドーンセンターパフォーマンススペース
内容:マリンバのコンサートです。

特定非営利活動法人

高齢者外出介助の会とは?

お年寄りの皆さんに、より楽しく充実した日常生活を過ごしていただくため次のような活動をしています。

- ①外出介助(買い物、お墓参り、通院など)
- ②暮らしサポーター(買い物、薬取り、入院時支援など)
- ③車椅子貸し出し(お気軽にご利用下さい)
- ④生きがい作り講座(童謡・唱歌を歌う会、絵手紙くらぶなど)
- ⑤大阪の文学を読む会(学び)
- ⑥「からほり新聞」制作

お気軽にお問い合わせください。

大阪市中央区松屋町4-8 メイツ松屋町1階

(おとうぶ屋さんのおとなり)

TEL&FAX 06-6764-4002

月~金(10:30~15:00)

E-mail: odekake@helen.ocn.ne.jp

ホームページ: www9.ocn.ne.jp/~ode-kake/

「からほり新聞」は高齢者外出介助の会に集う有志が、愛する「からほり」の賑わいを願って作っている無料のコミュニティ紙です。ご意見・ご感想・投稿・イベント情報などお待ちしております。また、「新聞置いてあげてもいいよ」とおっしゃってくださいるお店も大募集。

「からほり新聞に参加したいな」と思われる方、大歓迎です。気軽にご連絡ください。(現在55カ所設置)

からほり新聞ご持参の方に
もれなくエコバックプレゼント中!!

アトム オリジナルプリント
Tel.06-6764-5987

お気軽に
お立ち寄り下さい!
地下鉄谷町線「谷町6丁目駅」4番出口右折
200mほど先のファミリーマートがあるビル
新谷町第三ビル1階 南角

喰べ処 呑み処 おそうぎいの店

島やん

谷町6丁目12-8 TEL 6762-9288

営業時間:PM5:00~11:00(定休日:月曜日)

お地蔵さんが見守る町。 空堀から路地が消える！

その2

暮らしや景観を壊してしまう
開発から町を守るために、業者
側と渡り合った女3人の奮闘談
の2回目。

彼女達を支えたのは、「いつ
までも空堀に住み続けたい」と
いう強い気持ちだった。

平成18年1月6日、年も改



まったのに建築主から何の連絡
もない、建設工事が一時取り止
めになったことを告げられた。
6ヶ月間何の動きもないのに
たまりかねて、6月17日、隣接
者が集まって現地の雑草を抜い
た。

7月14日、工事説明会もまだ

開かれていない段階で、「平成
18年8月1日から工事にかか
る」と、施工会社から一方的に
連絡があった。

8月17日には、府議会議員に
相談に行き、これまでの経緯を
説明した。府議からは「決まっ
てしまうたことは引つ練り返せ
ないけど、あんたらがそこまで
勉強したんなら、ちよつと手伝
わせてもらおうか。署名を集め
たらどうや」とアドバイスを
貰った。

ヒントをいただいたのだから
出来るだけのことをしようと、
地域連合役員、隣接者、周辺の
人たち、町家見学者など、また、
通園児の父母には、子どもを送
り迎えしているお母さんたち
に、「工事の期間中は、大型ト
ラックの通行などで、大切な子
どもさんの安全も脅かされるか
ら、決して無関係なことではな
いよ」と訴えたことが功を奏し
て、多くの署名が集まった。8
月の5日間で440名分の署名
を集めた。

さらに、9月15日〜17日、S
さん宅に集まって、「10F建て



を7Fに、私たちモグラ」高
層建設で町家はつぶれる」とい
う外壁用ポスター2枚を作成。
雨でも大丈夫なようにペンキで
描き、Sさんの家の壁にかけら
れた。「反対」という言葉を使
わず、言いたいことがストレー
トに伝わり、しかもユーモア
たっぷりのポスターは評判がよ
かった。

9月20日、市議会議員に大阪市
役所へ同行をお願いし、3人は
建築指導部の課長に、要望書・
署名簿・隣接写真6枚・地図・
行動記録書などの書類を提出し

写真は空堀の現状を示すもので記事と直接関係ありません



ケラ子の介助日記

認知症でもいい社会

高齢者外出介助の会

事務局長 永井佳子

ある家族の方から突然
電話がありました。九州
から認知症の母親（Tさ
ん）を大阪に迎えたので、
サロンで話し相手をして
ほしいとのことでした。
それまで九州で親族の方
がお世話をされてきたの
ですが、小さな子どもが
入院してしまい、お世話
ができなくなったとのこ
とでした。

数日後、サロンに、T
さんを連れて娘さんが来
られました。認知症だと
いうTさんはもの静かで、
ご本人はサロンに来たわ
けが分からないのでしょ
う。バックの中身を入れ
たり出したり落ち着きが
ありません。

仕事があると、娘さん
はお母さんを残して帰っ
ていかれました。

私たちも突然のことで、

話し相手としてTさんの
これまでを聞きました。
「生まれも育ちも福岡。
大阪に来たものの、あま
り娘に迷惑をかけられな
いので、明日にも九州に
帰ろうと思う。婿さんに
も気を使う。やっぱり自
分の家が良い」胸が切な
くなりました。

このように認知症の方
は、親族の状況に変化が
起これば、本人の意思に
反して、施設や、他の親
族の家に移される方が多
いのです。家族だけでな
く、近隣の方の支えを得
ながら、慣れ親しんだ地
域に住みつづけることは
できないのでしょうか。

認知症を恐れないで近
隣の方も手を差し伸べて
欲しいのです。お互いに
支えあえる関係ができ
ばと願います。



街の車いすおじさんからの⑦
高齢や障害のために車椅子生活に
なることは誰にでも起こるかも…
そんなことになって気が付いたり
考えたことを連載で。

JR快速電車でのこと。
平日の夕方5時前、そろ
そろ混み合ってくる時間
帯。ドア付近に小学5年
くらいの男の子が二人連
れで、床に座り込んでい
ました。カバンや手提げ
袋など、沢山の荷物を周
りに置き散らかして、ふ
ざけ合ったり、有名塾の
テストをチェックしたり
で、忙しい様子でした。
まるで体育館みたいな広
い場所に居るみたいで、
勝手気ままに振る舞って
いて、周囲の様子には全
く無関心なものでした。

ベビーカーのお母さん
が乗り難くても、降りる
人が困っても場所を空け
る気配もありません。ド
ア付近にしか乗れない車
いすの私も、乗降する人
に道を空けるのに、四苦
八苦でした。

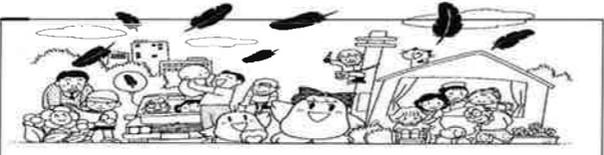
何駅かの間はガマンし
彼らが気づくのを待つて
みました。が、これはダ
メだと「君たち、電車は
家の勉強部屋と違うよ。
周りを見てごらん」と注
意してしまいました。

するとビックリしたこ
とに、こつちを睨みつけ
て「もうすぐ〇駅や、行
こ行こ」と前の車両に移
動して行ったのです。

「ご免なさい」どころか
なぜ注意されたかも理解
できなかった様でした。

こんな子たちが塾で成
績を挙げ、一流大学へ進
学して医者になったり、
高級官僚になるかと思
うとゾッとしました。

でも、誰も注意しない
周りの大人はもつと問題
では？ (山名 勝)



地域の福祉、みんなで参加

●地域の福祉の充実に、みなさまのご支援をよろしく願い致
します。共同募金は、10月1日～12月31日の期間ですが、年
間を通じて寄付金を受付しています。●大阪府共同募金会事
務局は、谷町7丁目交差点を信号1ツ西入ルの大阪社会福
祉指導センターの2階にあります。どうぞよろしく。●ホームペ
ージをぜひご覧下さい。http://www.akaihane-osaka.or.jp

マリンバを楽しみませんか？

毎週木曜日「からほりさろん」で教室をしています。
見学・体験(1回)大歓迎!!

くわしくは高齢者外出介助の会でお問い合わせください。
指導：北口 桂

ようガンバツタなあ

〈三人組の一人、Sさんの手記〉

ことの始まりから終わりまで足掛け4年と言う長い歳月が経過しました。問題のマンションは3月に完成。オバチャン3人組の活動もいよいよ終盤を迎えようとしています。

思えばずい分と色々紆余屈折の連続でした。3人組は老化している頭脳のネジを巻き直して奮闘。

その中でも印象に残っているのは、目下建設中の同じタイプのマンションの隣接者に署名をお願いしたところ「あんたの様に熱心な人が居てくれたらナニ」。こんな暑い時に大変やな、ご苦労さんや、用紙預かって書いてあげるワ」と親切なオバサン。手分けして5日間まわり、440名の方の協力が

ありました。ホンマにうれしかった。「そんな事して何の役に立つねん」と最後まで反対した人もありました。

今度はみんなに見えるように垂れ幕を作ろうと思いつき、大きな白い布に2枚セットの絵を描き、我が家の白壁に垂らした。近隣の人々、通園児まで立止まり、好評を博した。3人組も苦労の甲斐が有り、ええダイ



エットになりました。

こんなにパワーが沸きあがったのも、そもそも隣接の路地に祀られている地藏尊に來られたある府議から声を掛けて下さったのがご縁となり、早速3人組は今までの見聞を話しに訪ねて行った。

「大変失礼な言い方やけど」オバアチャン3人、ここまでよく勉強して來はったんには私もびつくりした。これを生かして頑張りなはれ、私も応援します。」と励ましの言葉を掛けて下さいました。

早速、実行に移す3人。役所に提出する要望書、添付書類、相手に送る内容証明などの作成に随分とお知恵を頂きました。

ある市議には建築課に提出する要望書と例の署名簿を私達だけでは力が弱いと同行・助言までして下さいました。

私達の日常生活に暖かいねぎらいの声をかけてくださった皆様に感謝と深い御礼を申し上げます。

いよいよ着工となれば完成まで1年間の長丁場、3人組は素

早く溫和路線に切り替えて笑顔も交す友好な関係で付き合っていく事に決め、協力しながらもチェックは厳しく、お陰で外装タイルの色も当初決めていた暗い色から明るい色にと変更させ、時々パンチも聞かせつつ夏場にはキャンディーの差し入れ、雪の積もった日にはぜんざい、パレンティンデーにはチョココレートetc。予定通りの完成となったことは、上手くいった証拠やナニ。

思えば最初のうちは箸にも棒にも掛からなかった物が最後には充分とは言えないまでも、切実な願いから隣接者の意見や要望に耳を傾けて実行してくれた施主、私達の生活の現実が理解されたと実感しています。

最後の仕上げとして管理、運営の諸々の問題を誓約書として残すべく作業に取り組み中。

暑い日、寒い日、オバチャン3人組の活動も終わります。お陰でホンマにええ呆け防止になりました。

自分たちに「永い間ご苦労さん」と言いたいです。(S)

快傑！からほり人

快傑ファイル其の十二

青い目の女流落語家

ダイアン吉日さん

今年NHKの朝ドラ「ちりとてちん」で、にわかに落語が注目されているが、実はからほりにも女流落語家がいる。しかもその人は英国はリバプールの出身。日本文化に魅了された青い目の麗人落語家ダイアン吉日さんは、「からほりの町は、故郷に似ている」と語る。

「うん、この間みたいを目玉

が溶けたらあかんしなあ。」

古典落語、犬の目を演じるダイアンさん。イギリス人といっても、その語り口調に英語訛りのイントネーションはなく、噺家特有の艶ささがある。そして目鼻立ちの大きな顔に、大きな表情を作るだけで会場からはクスクスと笑いがこぼれる。

「寄席での、お客さんとの一

体感が大好きです」。

彼女は落語の他にも、管状の風船を編みこんで花や動物を作るバルーンショーも披露するパフォーマーとして、各種のイベントでも活躍し、マスコミにも度々登場している。

「でも、子供の頃はシャイ。人前では喋れませんでした」と言う。しかし一方で、「好奇心旺盛で、興味事にはのめり込む

タイプ」とも自己を評する。母国ではグラフィックデザイナーをしていたが、世界を廻りたいという思いからバックパッカーを始め、90年に16カ国目(現在は38カ国周遊)に選んだのが日本だった。「当時は日本のコトは何も知らなかったし、3ヶ月ほどで他へ行くツモリでした」。

しかし、人に親切にされ日本の文化に触れると、その奥深さに魅了される。「京都、金沢、小樽：冬の日本海で滞在していたこともあります」。そして、旅を通じてシャイな部分は影を潜めて社交的になり、好奇心が全面に出る。日本の茶道をたしなみ、華道では師範の免許も取得、「着物は素晴らしい」と思うと、着付けも覚えてしまった。

そんな風に滞在期間が延び、落語と出逢ったのは96年。英語教室の友人の紹介で、故・桂枝雀の英語落語の寄席でお茶子を務めたのが切っ掛けだ。「最初から、面白い！と思いました」。以来、旺盛な好奇心で町の落語



そんなダイアンさんは、2年前にからほりに引越してきた。「日本的な長屋風情に、ずっと興味を持っていました」。現在の住まいも戦前からある木造家屋で、商店街を歩けば馴染みから声をかけられ、つい何時間も話し込んでしまえるところもお気に入りだ。「路地裏をぶらぶら散歩するのも好き。からほりは日本のけれど、古くて庶民的なところが故郷のリバプールみたい」。

からほりに住む青い目の女流落語家、ダイアンさんの日本熱は、いつまでも冷めることがなさそうだ。